

全国健康保険協会 支部調査研究事業 (平成29・30年度)

—通知事業を視野に入れた基礎的研究—

全国健康保険協会 福岡支部

平成30年

多剤投薬と不適切処方等に関する調査分析事業

【研究概要】

本研究は、医療保険者の立場から、加入者の服薬アドヒアランス※の向上と医療費の適正化を目指し、加入者（患者）の服薬状況等に関するレセプト分析（医科・調剤）並びに通知介入を目的とした事前調査を行うものである。さらに国の指針（H28厚生労働省保険局「医療費適正化計画について」）に沿って評価を行い、加入者の服薬アドヒアランス向上に資する通知事業の促進要因・阻害要因等を明らかにする。

※患者も薬を理解し、積極的に治療方針決定への参加をすること

協会けんぽ福岡支部加入者 (被保険者／被扶養者)

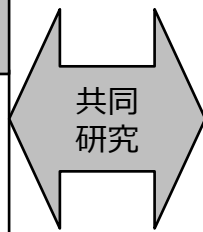
協会けんぽ福岡支部
(委託先：株式会社キャンサーズキャン)

【H29年度（1年目）】
服薬状況等に関する調査研究の実施

1. 服薬状況の実態把握（多剤投薬、相互作用・併用禁忌等の実態把握）
2. 上記1. の追加分析
3. 多剤投薬、相互作用・併用禁忌等にかかる薬物有害事象の分析

【H30年度（2年目）】
分析に基づく文書による介入の実施と評価

1. アンケート等による服薬等に関する意識調査とその評価
(医師、薬剤師等を対象に実施予定)
2. 通知文書作成・送付／効果検証
[対象者]
『併用禁忌等（重複等）』に該当する者など
(分析結果等を踏まえ検討が必要)

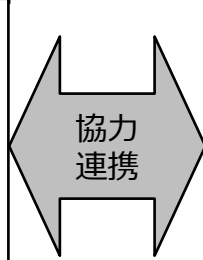


共同研究者

- 1) 東京大学大学院 薬学研究科
- 2) 京都大学大学院 医学研究科

本研究事業にかかる専門的知識の教授及び助言等の実施

- レセプトデータの分析
- アンケート実施にかかる内容作成及び調査結果の分析等



福岡県医師会、薬剤師会等

- （案）医師、薬剤師等へのアンケート実施（アンケート内容、対象者選定、広報等）
- 当該調査研究にかかる追加分析（必要に応じて情報の共有を行う）
- 通知事業実施の際の各会会員への広報等

上記のほか、必要に応じて協力・連携

加入者（患者）の服薬アドヒアランスの向上

⇒ 服薬（多剤、禁忌など）による有害事象発生の回避
多受診、重複受診、残薬問題への対応など